

DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 1999 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05808768 **Image available**
POS SYSTEM

PUB. NO.: 10-091868 [JP 10091868 A]
PUBLISHED: April 10, 1998 (19980410)
INVENTOR(s): ADACHI SHIGEMITSU
APPLICANT(s): NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP
(Japan)
APPL. NO.: 08-246134 [JP 96246134]
FILED: September 18, 1996 (19960918)
INTL CLASS: [6] G07G-001/01; G07G-001/12; G09F-003/00; G09F-027/00
JAPIO CLASS: 29.4 (PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines); 30.9
(MISCELLANEOUS GOODS -- Other)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a POS system by which information suited to a customer or article can easily be presented for each customer or article.

SOLUTION: When specific information related with article or customer is inputted through an inputting means 1, the sum of the article, or the name of a section to which the article is belonging or the merchandise is outputted based on the inputted specific information, and message information such as catch phrase or advertisement is outputted accompanying the outputted information from an information outputting means 5. At this time, the message information equivalent of the inputted specific information is extracted out of message information preliminarily stored in a storage means 4 by an information extracting means 2, and the extracted message information is outputted.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-91868

(43)公開日 平成10年(1998)4月10日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 7 G 1/01 3 0 1
1/12 3 6 1
G 0 9 F 3/00
27/00

F I
G 0 7 G 1/01 3 0 1 D
1/12 3 6 1 Z
G 0 9 F 3/00 M
27/00 E

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-246134

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(22)出願日 平成8年(1996)9月18日

(72)発明者 安達 重光

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

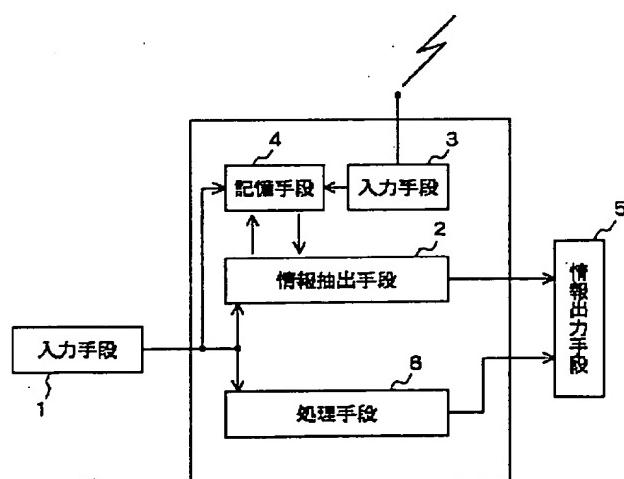
(74)代理人 弁理士 若林 忠

(54)【発明の名称】 POS装置

(57)【要約】

【課題】 顧客及び商品に合った情報を提供することができない。

【解決手段】 商品あるいは客層に関する特定情報が入力手段1を介して入力されると、情報出力手段5から、入力された特定情報に基づいて商品の金額や属する部門、商品名が出力されるとともに、出力される情報に付随して宣伝や広告となりうるメッセージ情報が出力されるが、その際、情報抽出手段2において、記憶手段4に予め格納されているメッセージ情報のうち、入力された特定情報に該当するメッセージ情報が抽出され、抽出されたメッセージ情報が出力される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】商品あるいは客層に関する特定情報が入力され、該特定情報に基づいて商品の金額や属する部門、商品名が出力されるとともに、出力される情報に付随して宣伝や広告となりうるメッセージ情報が出力されるPOS装置であって、
前記メッセージ情報は、前記商品及び客層によって異なることを特徴とするPOS装置。

【請求項2】請求項1に記載のPOS装置において、外部から前記特定情報及び前記メッセージ情報が入力される第1の入力手段と、
外部から前記メッセージ情報が入力される第2の入力手段と、
前記第1及び第2の入力手段を介して外部から入力されたメッセージ情報が格納される記憶手段と、
外部から前記第1の入力手段を介して特定情報が入力された場合に、前記記憶手段に格納されているメッセージ情報の中から、前記第1の入力手段を介して入力された特定情報に該当するメッセージ情報を抽出する情報抽出手段と、

予め、商品の金額や属する部門、商品名に関する情報が格納されており、外部から前記第1の入力手段を介して特定情報が入力された場合に、該特定情報に該当する商品の金額を算出するとともに商品の属する部門、商品名に関する情報を出力する処理手段と、
前記処理手段から出力された情報を出力するとともに、前記処理手段から出力された情報に付随して前記情報抽出手段において抽出されたメッセージ情報を出力する情報出力手段とを有することを特徴とするPOS装置。

【請求項3】請求項2に記載のPOS装置において、前記情報抽出手段は、前記第2の入力手段に入力されたメッセージ情報を前記情報出力手段に直接出力することを特徴とするPOS装置。

【請求項4】請求項1乃至3のいずれか1項に記載のPOS装置において、
前記メッセージ情報は、文字による情報であることを特徴とするPOS装置。

【請求項5】請求項1乃至3のいずれか1項に記載のPOS装置において、
前記メッセージ情報は、映像による情報であることを特徴とするPOS装置。

【請求項6】請求項1乃至3のいずれか1項に記載のPOS装置において、
前記メッセージ情報は、音声による情報であることを特徴とするPOS装置。

【請求項7】請求項1乃至3のいずれか1項に記載のPOS装置において、
前記メッセージ情報は、文字、映像及び音声による情報であることを特徴とするPOS装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、POS(ポイント・オブ・セールス)装置における情報出力の方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のPOS(ポイント・オブ・セールス)装置においては、外部から商品毎の金額や属する部門等の情報がキーボードを介して入力されると、入力された情報が内部に格納され、その後、商品のコードが読み取られた際に、PLU(プライスルックアップ)において、内部に格納されている情報のうち、読み取られたコードに該当する商品の金額や属する部門、商品名に関する情報が読み出され、ディスプレイに表示されると同時に、プリンタにおいて会計レシートとして印字される。

【0003】また、顧客管理の目的等で使用される会員カードから顧客番号が入力される場合もある。

【0004】このとき、店舗から顧客への情報提供の方法として、ディスプレイやレシートに店舗の宣伝や広告となりうるメッセージが、売上のあった商品明細と同時に表示あるいは印字されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述したような従来のPOS装置においては、売上のあった商品明細と同時に表示あるいは印字されるメッセージが、全ての顧客及び商品に対して同一のものであるため、顧客及び商品に合った情報を提供することができないという問題点がある。

【0006】本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、顧客または商品毎にその顧客または商品に合った情報を簡単に提供することができるPOS装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、商品あるいは客層に関する特定情報が入力され、該特定情報に基づいて商品の金額や属する部門、商品名が出力されるとともに、出力される情報に付随して宣伝や広告となりうるメッセージ情報が出力されるPOS装置であって、前記メッセージ情報は、前記商品及び客層によって異なることを特徴とする。

【0008】また、外部から前記特定情報及び前記メッセージ情報が入力される第1の入力手段と、外部から前記メッセージ情報が入力される第2の入力手段と、前記第1及び第2の入力手段を介して外部から入力されたメッセージ情報が格納される記憶手段と、外部から前記第1の入力手段を介して特定情報が入力された場合に、前記記憶手段に格納されているメッセージ情報の中から、前記第1の入力手段を介して入力された特定情報に該当するメッセージ情報を抽出する情報抽出手段と、予め、商品の金額や属する部門、商品名に関する情報が格納さ

れており、外部から前記第1の入力手段を介して特定情報が入力された場合に、該特定情報に該当する商品の金額を算出するとともに商品の属する部門、商品名に関する情報を出力する処理手段と、前記処理手段から出力された情報を出力するとともに、前記処理手段から出力された情報を付随して前記情報抽出手段において抽出されたメッセージ情報を出力する情報出力手段とを有することを特徴とする。

【0009】また、前記情報抽出手段は、前記第2の入力手段に入力されたメッセージ情報を前記情報出力手段に直接出力することを特徴とする。

【0010】また、前記メッセージ情報は、文字による情報であることを特徴とする。

【0011】また、前記メッセージ情報は、映像による情報であることを特徴とする。

【0012】また、前記メッセージ情報は、音声による情報であることを特徴とする。

【0013】また、前記メッセージ情報は、文字、映像及び音声による情報であることを特徴とする。

【0014】(作用)上記のように構成された本発明においては、商品あるいは客層に関する特定情報が入力されると、入力された特定情報に基づいて商品の金額や属する部門、商品名が出力されるとともに、出力される情報に付随して宣伝や広告となりうるメッセージ情報が抽出されるが、その際、予め格納されているメッセージ情報のうち、入力された特定情報に該当するメッセージ情報が抽出されて出力される。

【0015】このように、入力される特定情報に応じて、出力されるメッセージ情報が選択されるので、商品あるいは客層に合った情報が提供される。

【0016】また、そのためのメッセージ情報の抽出においては、専用の入力を用いる必要がない。

【0017】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について図面を参考して説明する。

【0018】図1は、本発明のPOS装置の実施の一形態を示す構成ブロック図である。

【0019】本形態は図1に示すように、外部から商品の分類コードや客層を示す情報等の特定情報及び特定情報に関する宣伝や広告となりうるメッセージ情報が入力される第1の入力手段1と、外部からメッセージ情報が入力される第2の入力手段3と、入力手段1、3を介して外部から入力されたメッセージ情報が格納される記憶手段4と、外部から入力手段1に特定情報が入力された場合に記憶手段4に格納されているメッセージ情報の中から、入力手段1に入力された特定情報に該当するメッセージ情報を抽出する情報抽出手段2と、予め、商品の金額や属する部門、商品名に関する情報が格納されており、外部から入力手段1に特定情報が入力された場合に、入力された特定情報に該当する商品の金額を算出

るとともに商品の属する部門、商品名に関する情報を出力する処理手段6と、情報抽出手段2において抽出されたメッセージ情報及び処理手段6から出力された情報を外部に出力する情報出力手段5とから構成されている。

【0020】以下に、上記のように構成されたPOS装置の動作について説明する。

【0021】まず、外部から入力手段1または入力手段3を介して、商品及び客層に対応した宣伝や広告となりうるメッセージ情報が入力されると、入力されたメッセージ情報が記憶手段4に格納される。

【0022】その後、外部から入力手段1を介して、商品の分類コードや客層を示す情報等の特定情報が入力されると、情報抽出手段2において、記憶手段4に格納されているメッセージ情報の中から、入力手段1を介して入力された特定情報に該当するメッセージ情報が抽出される。

【0023】同時に、処理手段6において、入力手段1を介して入力された特定情報に該当する商品の金額が算出されるとともに商品の属する部門、商品名に関する情報が抽出される。

【0024】次に、情報出力手段において、処理手段6から出力された情報が出力されるとともに、情報抽出手段2において抽出された情報が処理手段6から出力された情報に付随して出力される。

【0025】なお、上述した形態においては、入力手段3を介して外部から入力されるメッセージ情報が、記憶手段4に格納され、情報抽出手段2によって記憶手段4の中から所望のメッセージ情報が抽出されて情報出力手段5において外部に出力されるが、情報抽出手段2における制御により、メッセージ情報が入力手段3から情報出力手段5に直接出力されてもよい。

【0026】この場合、例えば、情報出力手段5にビデオ映像が流されている場合、売上の傾向により、複数あるビデオ映像チャネルの中から、最適なチャネルに自動的に切り替わるといった運用も可能である。

【0027】

【実施例】以下に、上述した実施の形態における実施例について説明する。

【0028】入力手段1、3を介して入力されるメッセージ情報としては、文字、映像、音声等による情報が用いられる。

【0029】また、入力手段1は、キーボード、スキャナあるいはカードリーダであり、通常の売上登録にて利用されるものである。

【0030】また、情報抽出手段2は、メッセージ情報を選択する小型コンピュータまたはプログラムであり、入力手段1を介して入力される特定情報となる入力コードやPLUコードに基づいて、記憶手段4に格納されているメッセージ情報から該当するメッセージ情報を抽出する。

【0031】また、入力手段3は、本POS装置以外の媒体を介して情報を入手する。入手する情報は、電波、通信等、電気的に変換できるデータである。

【0032】また、記憶手段4は、メモリであり、メッセージ情報となるデータを蓄積することができる。電気的に書き換え可能なメモリであり、ディスクまたはRAMである。

【0033】また、処理手段6は、計算機能やデータ蓄積機能を有する小型コンピュータまたはプログラムであり、通常のPOS装置と同様の会計処理、売上データの蓄積を行う。

【0034】また、情報出力手段5は、ディスプレイあるいはプリンタであり、POS装置に装備されている顧客側のディスプレイや、レシートプリンタ等の出力装置を利用してもよいし、専用の装置を用いてもよい。出力の例としては、取引毎に最も多かった商品に関する後継品の名称やリリース予定日をレシートに印字し、パッケージの画像イメージをディスプレイに表示すること等が考えられる。

【0035】

【発明の効果】以上説明したように本発明においては、

商品あるいは客層に関する特定情報が入力されると、入力された特定情報に基づいて商品の金額や属する部門、商品名が出力されるとともに、出力される情報に付随して宣伝や広告となりうるメッセージ情報が出力されるが、その際、予め格納されているメッセージ情報のうち、入力された特定情報に該当するメッセージ情報が抽出されて出力されるため、商品あるいは客層に合った情報を提供することができる。

【0036】また、そのためのメッセージ情報の抽出においては、自動的に行われるため、簡単に情報提供を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のPOS装置の実施の一形態を示す構成ブロック図である。

【符号の説明】

- | | |
|------|--------|
| 1, 3 | 入力手段 |
| 2 | 情報抽出手段 |
| 4 | 記憶手段 |
| 5 | 情報出力手段 |
| 20 6 | 処理手段 |

20 6 処理手段

【図1】

